

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	鋼コンクリート接合部設計法検討小委員会	主 査 名：西村泰志 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼コンクリート合成構造運営委員会	委員長名：和田 章 主 査 名：崎野健治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	異種構造部材で構成される接合部に関して、理論的に統一的な考えに基づく設計法を検討し、将来的に、鋼コンクリート合成構造接合部設計指針(案)の出版を視野においた技術資料の整備を目的とする。 ・応力伝達機構および抵抗機構に基づく統一的な設計式を構築する(2005,2006 年度) ・鋼コンクリート合成構造接合部の設計法に関する資料集を作成 (2007 年度) ・資料集に基づいて講習会を実施する(2007 年度)	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	西村泰志(大阪工業大学)、宮内靖昌(竹中工務店)、飯塚信一(西松建設)、内田和弘(フジタ)、川口 淳(三重大学)、北野敦則(北海道大学)、澤本佳和(鹿島建設)、鈴木英之(安藤建設)、筒井茂行(日本設計)、中澤春生(清水建設)、中原浩之(鹿児島大学)、馬場 望(大阪工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2005 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.kobe-u.ac.jp/scs/AIJ-SCCS/Subcommittees-j.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は 除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	1. 鋼コンクリート合成構造の応力伝達と設計法に関するセミナー 鋼コンクリート合成構造の応力伝達と設計法に関するセミナー資料集(65 頁) 参加者数 44 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1. 現時点では、接合部の設計式の構築には至っていないが、セミナーの資料集作成に力点をいたので、技術資料集の整備に関しては十分な成果が得られたと確信する。 2. セミナーでは、出席者から数多くの有益な意見が得られたので、小委員会の活動の方向性を更に明確にすることができた。
委員会活動の問題点・課題	RC 部材あるいは面材と S 部材が並列的に結合される接合部に関して、技術資料集にどこまで網羅するかについて、現時点では、結論に至っていない。